

**「阪神港利用促進プロジェクト」並びに  
「関空物流ニュービジネスモデル促進事業」の取組について**

# 「阪神港利用促進プロジェクト」の取組について

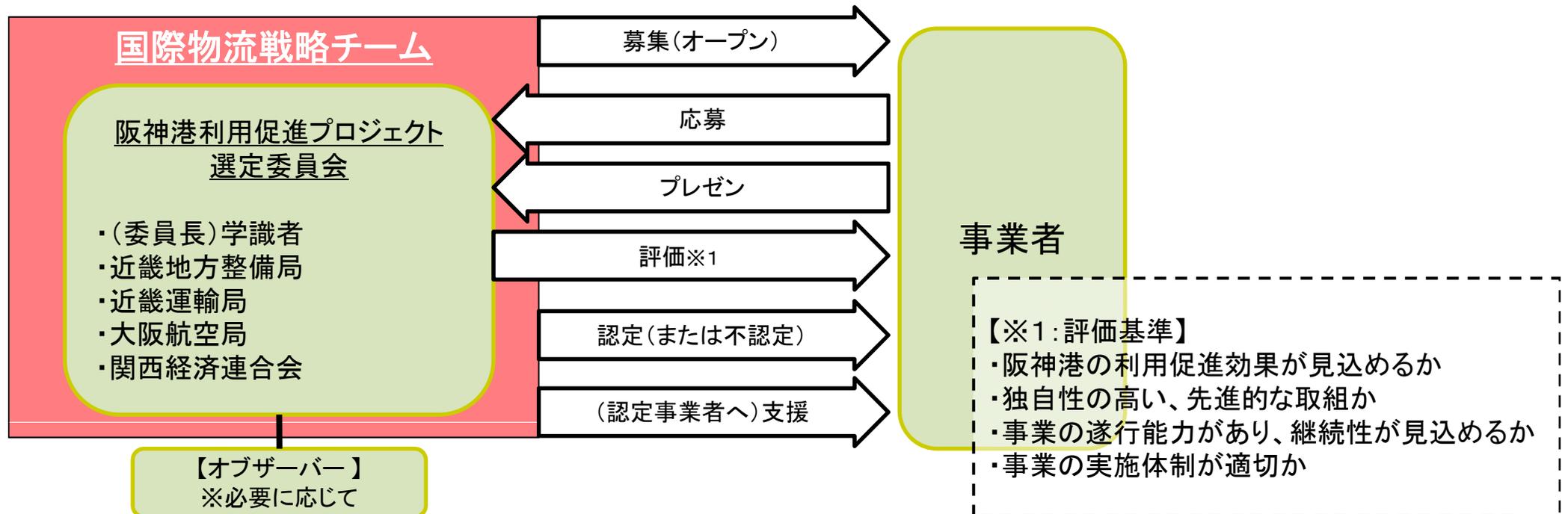
国際コンテナ戦略港湾「阪神港」の利便性を高め、「集貨」や「創貨」、「通貨」を促進するため、様々な事業者による独自サービスの更なる発展を支援する制度を平成25年度に創設。これまで6事業を認定。

## ○趣旨

当該取組は「国際物流戦略チーム」の認定事業として、社会情勢やビジネスニーズに適応し、具体的な事業アイデアにもとづく、独自性の高い国際物流サービスを支援する。

## 【認定事業者への支援例】

- ・国際物流戦略チームのウェブサイトでの認定プロジェクトの紹介
- ・国際物流戦略チーム構成員による広報協力
- ・認定事業者が実施する営業媒体等への認定事業の表記 等



# 「阪神港利用促進プロジェクト」の取組について

## 阪神港利用促進プロジェクト認定事業

H25年度認定：6事業

- **西日本内航フィーダー合同会社** 「阪神港～瀬戸内/九州 内航フィーダー機能強化事業」
  - ・瀬戸内/九州から阪神港へのコンテナを集貨する輸送サービスを提供。
  - ・大型船のメリットを活かし、合同会社のメンバー協力により、スピード・料金の両面で他社にはできないサービスで荷主にアピール。
- **鈴与海運株式会社** 「阪神港と瀬戸内・九州諸港を結ぶ内航コンテナフィーダー事業」
  - ・阪神港を起点に瀬戸内、九州諸港を内航船で1週間2往復航路。
  - ・不定期特定顧客への幅広い営業を展開。
  - ・ウィークリー、定曜日で運航することで、荷主企業は長期的な物流計画を可能に。
- **Orient Overseas Container Line Ltd Japan Branch** 「阪神港と九州・瀬戸内 母船フィーダー運航事業」
  - ・西日本各港と阪神港を結ぶフィーダー網を構築し、自社専用船によるリードタイムの短いフィーダーサービスを提供。
  - ・自社外航航路と阪神港の特性を生かした効率的なコンテナ供給・回収を可能に。
- **井本商運株式会社** 「ISO規格海上コンテナによる次世代型の「国内海上コンテナ輸送網」構築プロジェクト」
  - ・輸出入フィーダー貨物、国内動脈物流、国内静脈物流を組み合わせ、船型の大型化・低燃費化を実現。
  - ・ISO規格海上コンテナによる次世代型の「国内海上コンテナ輸送網」を構築し、国内幹線輸送サービス「海コン便」を提供。
- **横浜冷凍株式会社** 「夢洲物流センター新設」
  - ・「高い品質管理」、「環境にやさしい冷蔵倉庫」、「最適な保管環境の提供」という3つのコンセプトに基づいた最新スペックの物流センターを新設し、多様な物流ニーズに高レベルで対応。
- **AIU損害保険会社西日本地域事業本部** 「国内物流総合保険特約付き外航貨物海上保険」
  - ・貨物の保管・輸送中のリスクについて、地震・津波による損害を阪神港の所在地リスクに基づいた保険料を算出し、幅広い保証をオーダーメイド型で提供。

# 「阪神港利用促進プロジェクト」の取組について

## 〔認定事業者への支援例〕

### 「阪神港利用促進プロジェクト」活性化セミナーの開催

#### ■開催概要

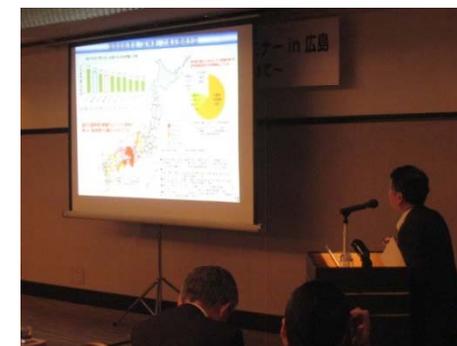
「阪神港利用促進プロジェクト認定事業」について、近畿、九州、中国・四国地域の港湾利用者である荷主企業や物流事業関係者の皆様に広く周知するため、セミナーを開催。

#### ■日時・場所

平成26年3月14日(金) ホテル大阪ベイタワー〔大阪市〕  
平成26年6月11日(水) 電気ビル共創館〔福岡市〕  
平成26年7月23日(水) 三井ガーデンホテル広島〔広島市〕

#### ■出席者

大阪開催:約150名 (地元荷主企業、物流事業者等)  
福岡開催:約90名 (地元荷主企業、物流事業者等)  
広島開催:約120名 (地元荷主企業、物流事業者等)



【阪神港利用促進プロジェクト活性化セミナー開催状況】

### 雑誌等での認定プロジェクトの紹介

経済団体や業界が発行する雑誌等へ認定事業の記事を掲載することで、幅広く周知を図った。

- ・「経済人 4月号」(公社)関西経済連合会刊、2014
- ・「港湾 7月号」(公社)日本港湾協会刊、2014



### 国際物流戦略チームのウェブサイトでの認定プロジェクトの紹介

## 「阪神港利用促進プロジェクト」の取組について

### 【H26年度事業の募集、選定、認定等スケジュール】

- ・平成26年10月上旬 応募受付開始（～平成26年11月上旬募集締切）
- ・平成26年12月上旬 阪神港利用促進プロジェクト選定委員会において、事業選定可否を決定
- ・平成27年1月下旬 国際物流戦略チーム幹事会において、選定結果を報告
- ・平成27年3月上旬 国際物流戦略チーム本部会合において、選定結果を報告

（報告をもって事業認定とする）

同本部会合において認定された事業者がプロジェクト内容を発表

# 「関空物流ニュービジネスモデル促進事業」の取組について

～関空を活かした新たな国際物流サービスのアイデアを応援します～

関西国際空港を活用した国際物流の活性化を目的として、民間企業による積極的な取組を支援する制度を平成21年度に創設。平成25年度までに29事業を認定。

## ➤ 趣旨

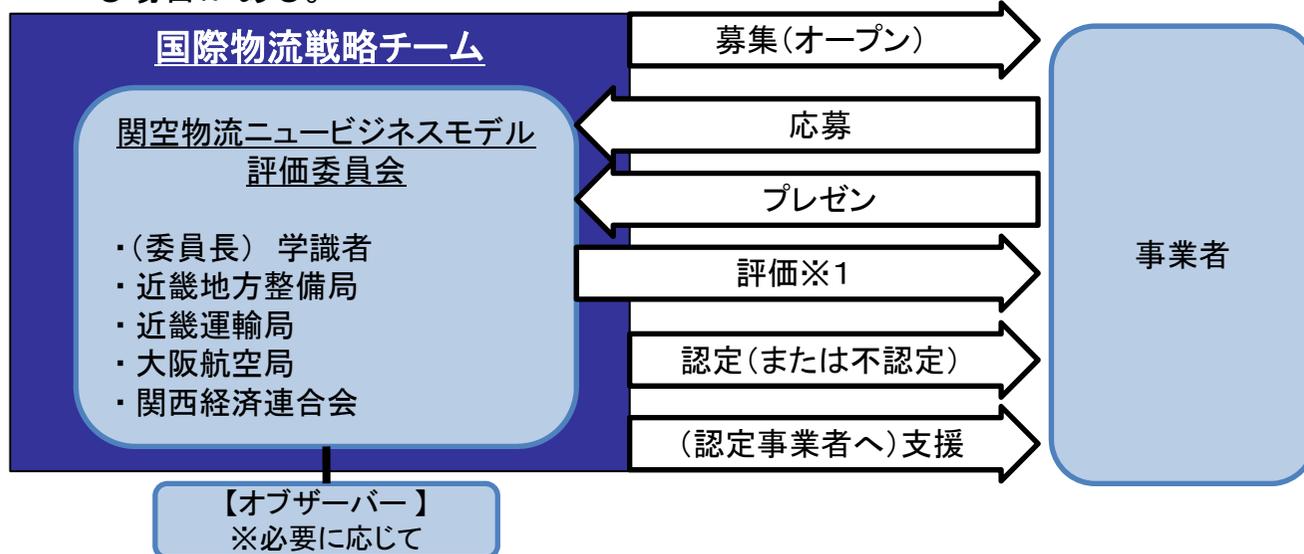
- 関西国際空港において、事業者主体による、産業界のニーズに的確に対応した独自性の高い国際物流サービスの開発とその商業化を促進することにより、関西の産業発展に寄与するとともに、関空を活用した航空物流機能の強化を支援する。

## ➤ 認定特典等

- 「関空物流ニュービジネスモデル評価委員会」において審査し、選定された事業については、国際物流戦略チームによる告知活動など事業普及、拡大のための各種支援を行う。

(支援例)

- (1) 地元自治体、経済界、関西国際空港等が実施するセミナーでのプレゼンテーション
  - (2) 国際物流戦略チームや関西国際空港のウェブサイト及び広報誌等への認定事業の優先露出
  - (3) 認定事業者が実施する営業媒体等へのモデル認定事業の表記 など
- 地元関西経済の活性化に寄与すると判断した事業に対しては、地元自治体、経済界、関西国際空港による助成が行われる場合がある。



## ➤ 応募条件

- 関西国際空港を利用した関西の国際物流の促進に寄与する事業であること
- これまでにない画期的な物流アイデアが盛り込まれている等、独自性の高い、先進的な取組であること
- 実施事業について、適宜の情報提供、成果の公表ができること
- 当該年度内に事業を開始し、かつ事業に一定の継続性が認められること

# 「関空物流ニュービジネスモデル促進事業」の取組について

## 関空物流ニュービジネスモデル促進事業

H25年度認定：5事業

- **AIU損害保険会社西日本地域事業本部 「KIX-Medica用  
国内物流総合保険特約付き外航貨物海上保険」**
  - ・KIX-Medica利用法人に対して、外航リスクと国内リスクのシームレスの補償を、リスクを鑑みた最適な保険料で提供する。また、今回の補償提供を通じて、各種データを収集・蓄積し、新商品開発に役立てる。
- **(株)ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング「関西国際空港を利用した再生医療製品の輸送ルート確立」**
  - ・再生医療事業において、現地製造ではなく輸出を中心とした展開可能性を探索すべく、関西国際空港から再生医療製品を試験的に輸送し、品質・リードタイム・温度管理・コスト等の観点から、その合理性について検証し、新しいビジネスモデルの確立を目指す。
- **日本通運(株) 「アジアの食輸出ハブ空港を目指す  
ALL KANSAI FOOD CHAIN構想」**
  - ・関西圏や近隣の産地発関空経由海外向け生鮮航空貨物の取扱拡大を図る。具体的には、各産地からの定温集荷網や、成長が著しい海外の日本食海外市場向けの最速一貫輸送サービス。また、鮮度を保つための専門の輸送容器やトレースシステムなど先進的輸送技術を駆使した輸送サービスを構築する。
- **(株)阪急阪神エクスプレス 「関空発着貨物の複数温度帯保冷貨物国内配送サービス」**
  - ・関西空港を発着する医薬品において、大型貨物から小口貨物に至るまで、KIX-Medicaを中心とした医薬品輸送関連施設を利用し、関西周辺都市への集配送サービスを行うことで、関西空港の利用促進販売活動を行う。
- **郵船ロジスティクス(株) 「“Cool Japan”の輸出支援」**
  - ・ユネスコ無形文化遺産に指定された「日本食」を中心に、海外(特に東南アジア)で注目されている日本文化の海外輸出の促進を図る。実質的な物流だけでなく、弊社の海外ネットワークやこれまで蓄積したノウハウを活かし、物流提案や外地情報など付加価値をつけ、これまで輸出経験のない関西の企業の潜在的需要を掘り起こし、輸出企業の裾野を広げる。

## 「関空物流ニュービジネスモデル促進事業」の取組について

### 【H26年度事業の募集、選定、認定等スケジュール】

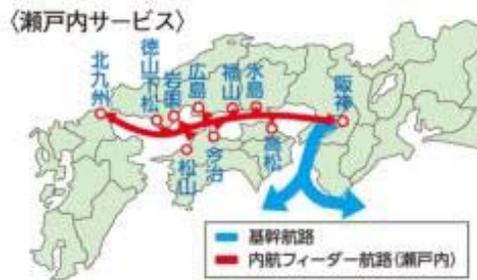
- ・平成26年12月上旬 応募受付開始（～平成27年1月下旬募集締切）
- ・平成27年2月中旬 関空ニュービジネスモデル評価委員会において、事業認定可否を決定
- ・平成27年3月下旬 国際物流戦略チーム本部会合において、認定結果を報告

# 「阪神港利用促進プロジェクト」並びに「関空物流ニュービジネスモデル促進事業」の取組について

## ～ これまでに認定された事業事例 ～

平成25年度阪神港利用促進プロジェクト認定事業	
事業者名	西日本内航フィーダー合同会社
事業名称	阪神港～瀬戸内/九州 内航フィーダー機能強化事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・瀬戸内/九州から阪神港へのコンテナを集貨する輸送サービスを提供。</li> <li>・大型船のメリットを生かし、合同会社のメンバー協力により、スピード・料金の両面で他社にはできないサービスで荷主にアピール。</li> </ul>

平成25年度関空物流ニュービジネスモデル促進事業	
事業者名	日本通運株式会社
事業名称	アジアの食輸出ハブ空港を目指す ALL関西FOOD CHAIN構想
事業概要	<p>関西圏や近隣の産地発関空経由海外向け生鮮航空貨物の取扱拡大を図る。具体的には、各産地からの定温集荷網や、成長が著しい海外の日本食海外市場向け最速一貫輸送サービス。また、鮮度を保つための専門の輸送容器やトレースシステムなど先進的輸送技術を駆使した輸送サービスを構築する。</p>



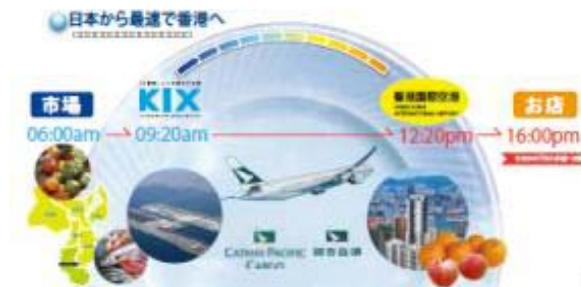
【阪神港利用促進プロジェクト活性化セミナー プレゼンテーション】



関西フードエクスポート&ブランディング協議会設立  
(三井住友海上、三井住友銀行、日本通運、  
関西・食・輸出推進事業協同組合、新関西国際空港㈱)



【第4回ALL関西食輸出セミナー  
でのプレゼンテーション】



【香港向け最速サービスの確立】